

2020年10月23日

各位

会社名 株式会社モバイルファクトリー  
 代表者名 代表取締役 宮脇 裕二  
 (コード: 3912 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員 佐藤 舞子  
 (TEL. 03-3447-1181)

### 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年1月29日に公表いたしました2020年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2020年12月期通期連結業績予想の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,295 ～3,546	1,004 ～1,303	1,002 ～1,300	692 ～899	78.44 ～101.81
今回修正予想 (B)	2,819	814	816	563	65.90
増減額 (B - A)	△476 ～△727	△190 ～△488	△185 ～△484	△128 ～△335	—
増減率 ( % )	△14.4 ～△20.5	△19.0 ～△37.5	△18.6 ～△37.3	△18.6 ～△37.3	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	3,190	1,109	1,109	773	86.53

#### 2. 修正の理由

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年1月29日に公表しました決算短信において、当社グループの経営状況や市場動向等、並びに新作ゲーム等の成績により業績が大きく変動することを想定し、レンジ形式により開示しておりました。また、これまでは新型コロナウイルス感染症について、感染拡大に対する予防措置として発出された緊急事態宣言が解除され、外出自粛や移動制限が徐々に緩和される一方で、その収束時期は依然として不透明であり、且つ経済活動に与える影響も不透明な状況であることから、業績に与える影響を合理的に算定することが困難であるため、予想を修正せず据え置いておりました。

しかしながら、政府の経済政策により旅行や移動の活性化は見られるものの、依然として鉄道を中心とした移動に対する抵抗感も感じられ、従来の水準には回復しておりません。また、夏に先行版をリリースしました「駅メモ! Our Rails」においても、プロジェクト発足当初に想定した追加投資環境が整わない状況が続いております。

今般、新型コロナウイルス感染症による事業環境への影響（主に位置情報連動型ゲームの売上高、約 500 百万円減少）及び市場動向等を鑑み、本状況下での各サービスの長期運用を見据えた KPI 改善を優先するとともに、駅トークンの販売を 2021 年 12 月期へ延期する方針としたことを踏まえ、改めて見通しを検討した結果、売上高及び各段階利益は前回予想の下限値を下回る見込みとなりましたので、業績予想の修正を行うものであります。

なお、各種変動要因に対する一定の確度の高い見通しがついてきたことから、今回予想につきましては、特定数値による連結業績予想としております。

※ 本資料の業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上